

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年1月25日

JAMA:

モデルナワクチンは生後6か月児から5歳児に安全に投与でき、有効性も高い

【松崎雑感】

乳児から幼児に対するモデルナワクチン投与トライアルの結果です。

概ね安全性に問題なし。感染防止効果も、小児に対する、これまでのトライアルと、ほぼ同じという事です。現在長期効果を追跡中とのこと。

乳幼児への接種効果が、副反応リスクをどれくらい上回るか、さらに周囲の成人にもたらされるベネフィットどれくらい大きいのか、今後の検討課題だと思います。

モデルナワクチンは生後6か月児から5歳児に安全に投与でき、有効性も高い

Slomski A. Moderna COVID-19 Vaccine Safe and Effective for Children 6 Months to 5 Years. *JAMA*. 2022;328(24):2388.

doi:10.1001/jama.2022.20056

モデルナワクチンを生後6か月から5才児に対して1回25 μ g、2回投与した結果、良好な免疫反応が得られ、安全上の問題も見られなかったという。

現在進行中のKidCOVE第Ⅱ～Ⅲ相トライアルで、投与量決定トライアルの結果に基づいて、1回25 μ g、あるいはプラセボを、2～5歳児および6か月～23か月児の2群に投与した。NEJMに中間解析が報告されている。

2～5歳児4048名と、6～23か月児2355名に、28日の間隔でモデルナワクチンあるいはプラセボを2回投与した。

副反応は軽度で一過性のものだった。接種から57日後に、中和抗体価は平均1410（2～5歳児）、1781（6～23か月児）となった。

ちなみに100 μ gを投与された若年成人の中和抗体価は1391である。

オミクロン株流行中に行われたトライアルで、感染は2～5歳児で36.8%、6～23か月児で50.6%低下した。

若者や成人でもオミクロン株に対する感染防止効果は低下している。現在長期的効果を観察中である。